GOOD DESIGN

放課後NPO アフタースクール

放課後はゴールデンタイム

Creating a fun-derful after-school experience, together.



Mission

日本中の放課後を、ゴールデンタイムに。








私たちの目指す社会

Vision

子どもたちが、いまも未来も幸せに。

私たちは、社会全体が子どもを尊重し、可能性を心から信じて応援する世の中となることを願っています。子どもも大人も対等な関係性の中で、一人ひとりが生き抜く力を育む環境を整え、誰もが共に幸せを感じられる社会を目指して活動していきます。

子ども主体の放課後において大切にしたい価値

Value



自由 Independence
過ごし方を自分で選んで決めること

挑戦 Challenge
可能性にチャレンジすること

夢中 Enthusiasm
好きなだけ没頭すること

多様 Diversity
多様でありのままで良いこと

社会 Society
リアルな社会とつながること

仲間 Friends
多くの仲間と出会うこと

社会全体で子どもの幸せ（ウェルビーイング）に貢献する未来を目指して。

子どもたちにとって放課後は、自分でやりたいことを自由に選び、多様な仲間や社会とつながり、
夢中になって挑戦できる、まるで宝物のような時間「ゴールデンタイム」です。
私たちは、子どもたちがワクワクする放課後の居場所づくりと
多様な大人や体験との出会いを通して子どもたちの生き抜く力が育まれる社会を目指します。








働くうえで大切にしている願い

Wish

わたしたちが、いまも未来も幸せに。

私たちは、子どもたちの未来を共に支える仲間として、スタッフ一人ひとりが幸せを感じながら働ける環境を大切にしています。自分の可能性を広げ、仲間と支え合いながら、プロフェッショナルとして成長できる職場を目指しています。

組織の文化

Culture

新しい価値を生みだす
得意をいかす
仲間の思いを尊重する
遊び心を大切にする
プロ意識をもつ

これまでの歩みとこれから

2004年から構想が始まり、公民館でのボランティア活動を経て、2009年に本格的に活動を開始。2011年に最初のアフタースクールを開校し、2020年までに21校を展開。これからも日本中に「ゴールデンタイム」と呼べるアフタースクールモデルを広げてまいります。



Check more

私たちについて
詳しくはこちら

Issue

日本の子どもは幸せでしょうか？

低い「幸福度」と「自己肯定感」

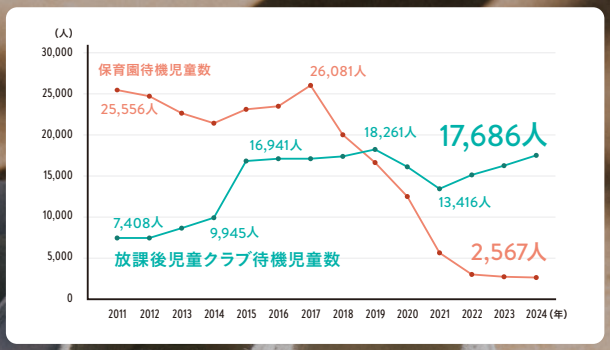
日本の子どもたちは、身体的幸福度で世界1位である一方、精神的幸福度は37位という課題があります。また、自己肯定感が低く、「自分は価値のある人間だと思う」と答える子どもは8%にとどまっています。



※38か国：経済協力開発機構（OECD）または欧州連合（EU）の加盟国を対象
ユニセフ「レポートカード16」（公財）日本ユニセフ協会（2020年度）

不足する放課後の居場所

学童保育の待機児童は17,686人にのぼります。放課後に安全で安心して過ごせる場所が不足しており、「小1の壁」といった親子双方の課題が深刻化しています。



こども家庭庁「令和6年 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（速報値）」（2024年5月1日現在、7月19日発表）、「保育所等関連状況取りまとめ（令和6年4月1日）」

私たちの取り組み

放課後NPOアフタースクールは、子どもたちが安心して豊かな放課後を過ごせる

1 アフタースクールの運営とモデル開発



子どもが主役となる、安心・安全な放課後の居場所を提供し、全国でモデルとなるアフタースクールを運営・展開しています。

P.07

2 全国の放課後の居場所支援



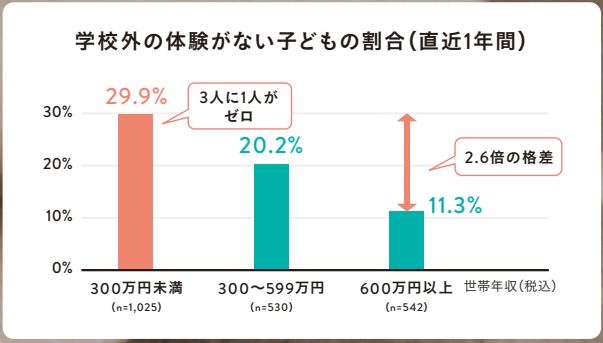
地域のニーズに応じた居場所づくりを支援し、持続可能な運営を実現するため、研修やコーディネートを行っています。

P.08

子どもたちが過ごす放課後には、下記のような深刻な課題が存在しています。
特に、「小1の壁」と呼ばれる問題では、小学校に入学すると
放課後の居場所が質・量ともに不足し、子どもが安心して過ごせる場所が限られてしまいます。
その結果、親は仕事との両立が難しくなり、働き方を変えざるを得ないことも少なくありません。
こうした課題は、子どもたちの成長だけでなく、社会全体にも影響を与えています。

広がる体験格差

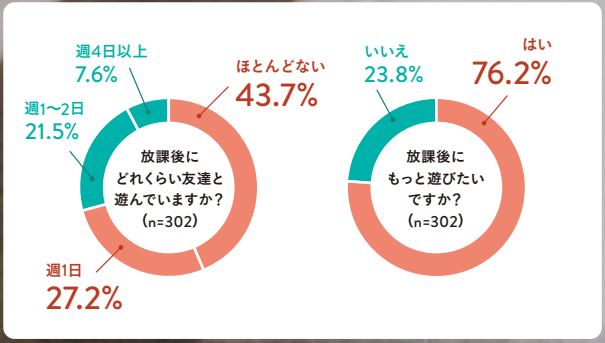
家庭の経済状況や居住地域の環境によって、子どもたちの体験や学びの機会に大きな差が生まれています。これによる成長への影響も大きいと言われています。



公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン「子どもの『体験格差』実態調査」（2023年）

減少する友達や地域との関わり

子どもが「もっと遊びたい」と思う一方で、遊びや交流の機会が減少。地域の大人とのつながりも薄れ、コミュニティの希薄化や地域の安全性低下などの悪循環が続いています。



放課後NPOアフタースクール「小学生の放課後の過ごし方に関する調査レポート（2023年11月）」

社会の実現を目指し、以下の4つの柱を中心に活動しています。

3 全国の子どもの体験機会の創出



地域や企業との協働を通じて、全国の放課後の居場所で多様な体験機会を創出し、新しい挑戦や学びの場を提供しています。

P.09

4 啓発と調査研究



放課後の課題の調査や問題提起、政策提言等を行っています。また、放課後の重要性と課題の社会的認知を広め、解決策の推進につなげます。

P.10



どの子にも絶対にいいところがある

4年生のSちゃんの放課後は、これまでとは違っていました。
友達は習い事で忙しくなったようで、
Sちゃんはアフタースクールへ行こうか迷いながら、
うつむき加減に歩いていました。

校庭へ向かう途中、Sちゃんは1年生の子と一緒になりました。
「ゆっくり、ゆっくりいこうね」
階段を降りながら、Sちゃんのやさしい声が響きます。
そして校庭に着くと、Sちゃんを中心に遊びが広がり、
「仲間に入れて〜」と、次々と子どもたちが集まってきました。

うつむき加減だったSちゃんの姿は、
もうそこにはありませんでした——。

Check more

noteで子どもたちの
エピソードを読む

私たちの取り組み 1 アフタースクールの運営とモデル開発

2011年から21校を開校!
2025年3月現在

子ども主体の放課後をアフタースクールで!

私たちは、小学校施設を活用し、地域社会と共に子どもを育てる「アフタースクールモデル」を、日本の社会インフラにすることを目指しています。地域や学校と連携し、安心できる放課後の場をつくり、「自分で選び、自分で決める」経験を積める環境を整備。学びや遊び、創造の場に加え、多様なプログラムで挑戦の機会をつくり、地域の大人が関わる機会を増やすことで、子どもたちの成長を支えます。また、中高学年や支援が必要な子も安心できる多様な選択肢を用意し、全国の放課後を豊かにする活動につなげています。

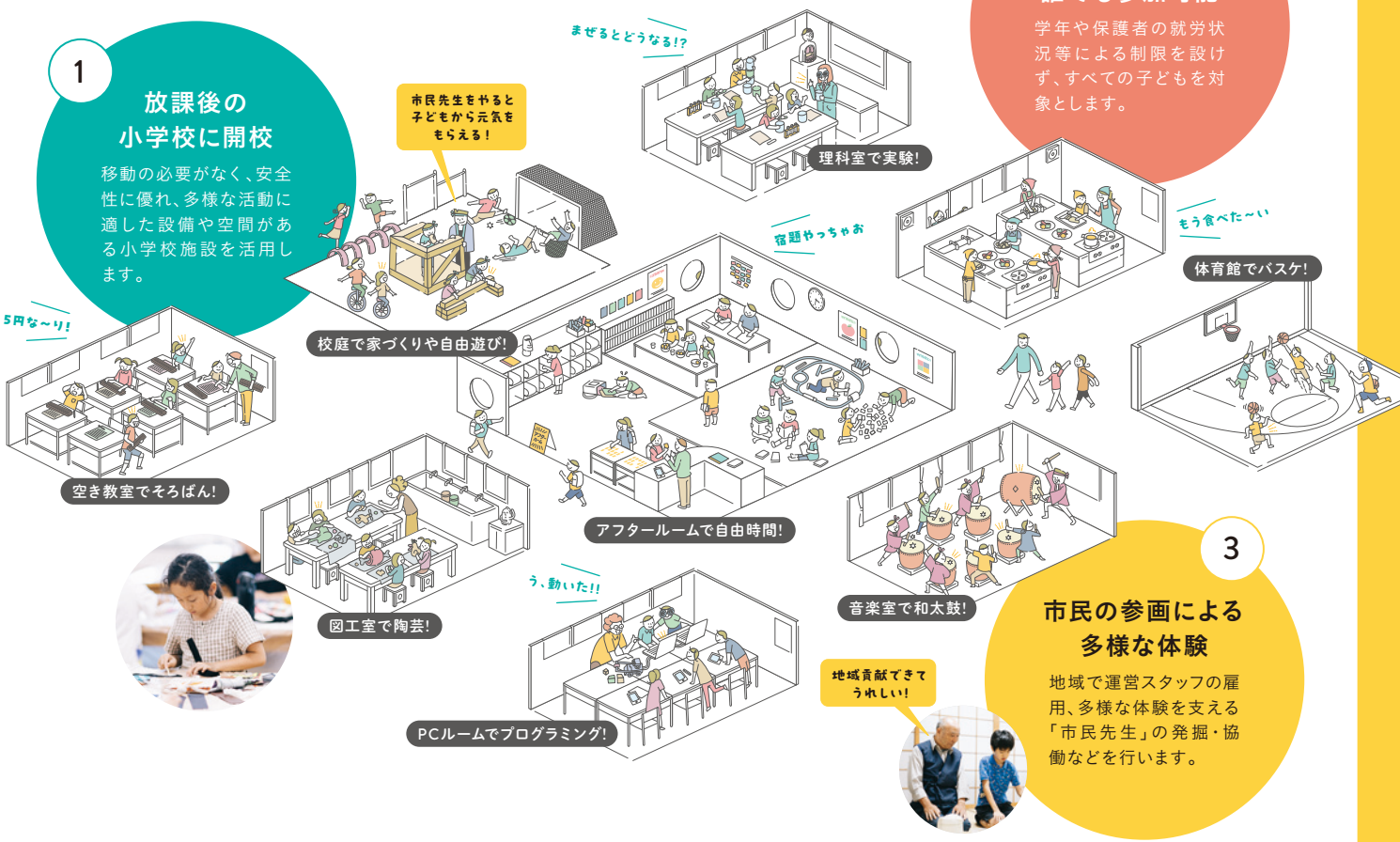


1 放課後の小学校に開校

移動の必要がなく、安全性に優れ、多様な活動に適した設備や空間がある小学校施設を活用します。

2 1〜6年生まで誰でも参加可能

学年や保護者の就労状況等による制限を設けず、すべての子どもを対象とします。



3 市民の参画による多様な体験

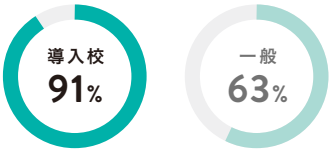
地域で運営スタッフの雇用、多様な体験を支える「市民先生」の発掘・協働などを行います。

アフタースクール導入による「子どもへの効果」

(導入校:アフタースクール実施校でのアンケート/一般:小学生一般のアンケート)

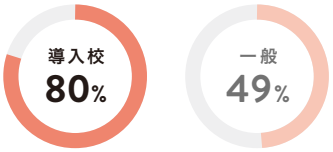
自己肯定感があがる!

自分の得意なことがある



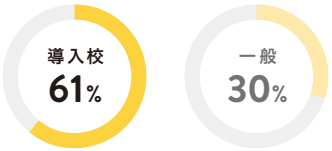
挑戦意欲があがる!

新しいことに挑戦したい



自信が持てる!

自分に自信がある



子どもへの効果だけでなく、導入校の保護者の78%が「安心して仕事ができる」と感じ、生活の充実にもつながっています。学校にとっても、76%の子どもが「学校が好きになった」と回答し、友達の輪が広がるなど、活気ある環境づくりに貢献しています。

Check more
アフタースクールについて詳しくはこちら

私たちの取り組み 2 全国の放課後の居場所支援

地域と子どもそれぞれのニーズに合った放課後の居場所づくりをお手伝い



地域ごとに異なる課題に寄り添い、子どもたちが安心して過ごせる放課後の居場所づくりをサポートしています。待機児童の問題や活動場所・担い手の不足といった課題に対応しながら、子どもたちの声を活かし、地域の皆様と共に豊かな放課後の環境づくりを進めるお手伝いをしています。私たちの経験が、地域の居場所の充実にお役立てできれば幸いです。

制度・運営設計、人材育成

アフタースクール開設
放課後事業の制度設計・実施計画策定を支援。運営モデル構築などニーズに応じて伴走支援。

人材確保・育成
採用サポートに加え、様々な人材育成研修を提供。チームづくりや外部連携も支援。

運営基盤整備
DX推進支援等により運営フローを改善し、業務標準化とリスク管理体制を強化。

子どもの意見反映、体験活動の充実

子どもの意見反映
アンケートの設計、ワークショップの企画、ファシリテーション等により子どもの声を聴取・調査し、居場所づくりや活動に反映。

体験活動の充実
多様な体験活動の企画・実施を支援。地元企業等、地域と連携したプログラム開発やICT活用・オンラインプログラムの提供等もサポート。

学校施設活用・地域連携

学校施設活用・室内環境設計
教室のタイムシェア、施設活用の仕組化を行い、子どもが過ごし方を選べる環境デザイン、柔軟な空間づくりを支援。

地域コーディネーター育成
地域人材（市民先生等）を発掘し、活躍いただける活動設計・スキームの開発支援。地域に根差したコーディネーターの育成に向けた研修提供。

Topics

評価の仕組みづくりと放課後の質の可視化

放課後の居場所が子どもの成長に与える影響を明らかにするため、評価スケールを活用した調査研究を進めています。自治体や放課後児童クラブを対象に、専門機関と連携し、質の向上を支援するデータの可視化に取り組んでいます。

放課後勉強会を開催

全国の子どもの居場所運営に関わるスタッフ向けに、現場で役立つ実践事例やケースケーススタディを行う「放課後勉強会」を定期開催。オンラインで1,400名以上が参加し、全国の仲間とつながって学び合う機会をつくっています。



Check more
居場所づくりの事例など詳しくはこちら

主な放課後事業支援事例



茨城県つくば市（2024年度～）
栃木県小山市（2024年度～）
兵庫県南あわじ市（2019年度～）
アフタースクールの開設に向けて協働。制度設計や学校調整のサポート、運営スタッフへの伴走支援等を実施。

福岡県福岡市（2025年度～）
放課後の子どもの体験活動の充実に向けたモデル事業において、制度設計やワークショップの開催支援、運営事業者への伴走支援等を実施。



滋賀県（2023年度～）
地域企業等と小学生の居場所をつなげるプラットフォーム「こどなBASE」の事務局業務を受託し、体験プログラムを提供。

私たちの取り組み 3 全国の子どもの体験機会の創出

多種多様な企業・団体・自治体と協働し、より多くの子どもたちに体験をお届け

未来を担う子どもたちが自己肯定感を高め、多様な体験や出会いを通じて自分の可能性を広げるためには、企業や団体、自治体の皆様の力が必要です。企業の皆様の専門性や知見、そして従業員の方々の協力を得て、子どもたちが挑戦する力や協働する力を育む機会を全国に届けています。子どもたちの未来を豊かにする放課後づくりのために、私たちと力を合わせませんか？

プログラム提供居場所数 400ヶ所 以上 / 年間

参加児童数 9,000人 以上 / 年間

プログラムを届けた地域 47 都道府県（累計）



千葉県千葉市（2016年度～）

放課後子供教室の総合コーディネーターとして、体験活動の提供や運営を支援。2025年度より新方式の放課後子供教室3校を運営。

神奈川県川崎市（2023年度～）

学校や児童館など多様な居場所において、子ども・市民の声を継続的に反映する仕組みづくりや地域協働による居場所づくりを支援。

これまで多くのパートナー企業様と共に、日本全国の子どもたちに多様なプログラム提供や居場所支援を行ってきました。



おいしい！野菜チャレンジ

with カゴメ様

野菜と楽しく触れ合い、野菜のおもしろさを学ぶ「食育」プログラム。



みんなの地球を守れ！水と未来ワクワク大作戦

with クリタグループ様

「水の大切さ」を実験やクイズを通じて学び、地球のためにできる行動を考えるプログラム。



スミセイアフタースクールプロジェクト

with 住友生命保険様

日本で先駆けとなる全国対象の学童保育室等応援プロジェクト。放課後がより楽しくなるプログラムを提供。



感動体験プログラム

with ソニーグループ様

教育格差縮小を目指し、子どもの好奇心と創造性を育む取り組み。



食育プロジェクト

with 不二製油様

「人と地球の健康を考える」をテーマに、世界の食糧問題や食の大切さを学ぶ出前授業の実施。

「アトリエ・バンライ」プロジェクト

with 三井住友フィナンシャルグループ様

銀行の出張所跡地を活用した“こどもたちの学びや体験を支援する居場所づくり”を開設支援から伴走。

これまで協働いただいた企業様

（五十音順）

APPLIED MATERIALS / EPOS / KAGOME / KURITA / Santen / 住友生命 / salesforce / SONY / BARCLAYS / 不二製油 / Benesse ベネッセコーポレーション / SMBC

Check more

他にも多くの企業様と連携しています

私たちの取り組み 4 啓発と調査研究

多角的な啓発活動、行政機関への働きかけを通じて、放課後の価値転換を目指します

放課後の持つ価値の発信や実態調査報告等を通じた問題提起、
各ステークホルダーへの多角的な啓発活動を行い、放課後の価値転換を目指します。
また日本の放課後環境全体が子どもたちや働くスタッフにとってより豊かなものとなるよう、
財源や人材確保、制度充実を目指し、行政機関へ働きかけていきます。

政策提言



放課後の課題解決に向けた政策提言を行い、国や自治体単位の制度充実を目指しています。データに基づいた報告や提案を通じて、子どもたちが安心して成長できる放課後の環境づくりを推進しています。

自治体向けフォーラム



全国の自治体を対象に、放課後の現状や課題、成功事例などを共有するフォーラムを開催。地域ごとのニーズに合った放課後事業の構築を支援する場として、多くの自治体と連携しています。

子育て層向けイベント



保護者や教育関係者を対象に、子どものウェルビーイングをテーマとしたイベントを開催しています。家庭や放課後が子どもたちの成長や幸福にどう寄与できるかを考え、共に学ぶ機会を創出しています。

みなさんの声



他学年の友達と過ごすことができて楽しい！普段は話す機会がない子とも関われて嬉しいです。
(アフタースクール利用／6年女子)



いつもドラマがあり、大好きな料理を子どもたちと作る時間は、人生の思い出になります。
(市民先生／料理プログラム)



株主への配当も大切ですが、社会への還元も重要。放課後NPOへの継続的な支援を通じ、子どもたちの未来を支えたいと思っています。
(法人寄付／ご担当者)



家庭にとってかけがえのない場所。多くの体験をさせてもらい、子どもたちを温かく見守ってくれることに感謝しています。
(公立アフタースクール利用／保護者)

放課後の今を発信しています

放課後の現場での取り組みや子どもたちのエピソード、イベントのお知らせ、スタッフの想いなど、多彩な情報を発信しています。ぜひ、放課後の魅力を感じてください。

各種SNS Follow me!

メルマガ会員

放課後の課題に対する私たちの取り組みや、子どもたちのエピソード、最新のニュースなどを、適宜お届けいたします。ぜひご登録ください。

放課後NPOアフタースクール公式note

安全で豊かな小学生の放課後を日本全国で実現するために活動している私たちから、子どもたちのいまや想いを共にしてくださる方々とのエピソードなどをお届けします。



社会で子どもを育てる

地域の子どもたちを見守り続けてきた70歳のAさん。
以前は税理士として活躍し、
アフタースクールでは特技の「そろばん」を
子どもたちに教えるプログラムを始めました。

最初は2人から始まったプログラムが少しずつ広がり、
「毎週火曜日はそろばんの日」として定着。
Aさんは一人ひとりに合わせた
手書きのワークシートを用意し、
子どもたちは学校帰りにそろばんを手に
待ち構えるようになりました。

放課後の時間が、子どもたちと地域の大人をつなぎ、
新たな絆を育む場へと広がっていきます——。

Check more

noteで子どもたちの
エピソードを読む

ご寄付のお願い　皆様のご支援が、子どもたちの未来を支えます。

私たちは、子どもたちが安心して過ごし、学びや挑戦の機会を得られる放課後を届けるために、さまざまな活動を展開しています。この取り組みを全国に広げ、より多くの子どもたちに充実した放課後を届けるために、皆様のご支援が欠かせません。

個人のご寄付（月1,000円〜）

法人のご寄付（1口25万円〜）

いただいたご寄付は、次の活動に活用されています。



全国の放課後に多様な体験を

体験格差の縮小に向け、全国の子どもたちに多様な体験を通じた成長機会を届けます。



全国の居場所運営者の研修・運営支援に

放課後施設の運営者向けに研修や伴走支援を提供し、安全で子どもが「行きたい」と思える居場所づくりを進めています。



放課後の課題に関する調査と啓発活動に

子どもたちの課題を可視化し、問題提起や政策提言を通じて、放課後の課題解決の推進につなげます。

その他、活動拡充に必要な人材確保やアフタースクールの環境整備にも役立てています。皆様のご支援が、子どもたちの未来を支える力となります。皆様の想いが形となり、子どもたちの未来に希望を届けます。ご支援を心よりお待ちしております。

ご寄付はWEBサイトから

団体概要

2025年6月1日現在

名称	特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール
設立	2009年6月10日
スタッフ数	スタッフ：319名（常勤99名、業務委託13名、非常勤207名）
代表理事	平岩 国泰
副代表理事	島村 友紀（事務局長）／ 正村 絵理
理事	三谷 宏治　KIT虎ノ門大学院 教授 早稲田大学ビジネススクール・女子栄養大学 客員教授 森本 千賀子　株式会社morich 代表取締役兼オールラウンダーエージェント
監事	朝貝 義幸（公認会計士）

JCNE

私たちは、（公財）日本非営利組織評価センターによる第三者組織評価を受け、「すべての基準を満たしています」との評価結果をいただきました。

受賞歴

GOOD DESIGN

グッドデザイン賞 ／ 4度
（2008年・2009年・2015年・2017年）

KIDS DESIGN AWARD

キッズデザイン賞 ／ 5度
（2008年・2010年・2014年・2017年・2019年）

東京都女性活躍推進大賞
「地域分野」大賞
（2016年）

TOKYO ライフ・ワーク・バランス 認定企業

東京都ライフ・ワーク・バランス
認定企業選出

放課後NPO アフタースクール

放課後NPO　検索

https://npoafterschool.org

特定非営利活動法人 **放課後NPOアフタースクール**

東京本部　〒113-0033 東京都文京区本郷1-20-9 本郷元町ビル5F
TEL 03-6721-5043　FAX 03-6721-5044　E-mail info@npoafterschool.org

関西事務所　〒531-0071 大阪府大阪市北区中津1-17-26 中津グランドビル7階D号室
TEL 06-7222-3919　E-mail kansai@npoafterschool.org